

平成28年10月28日

開 議

第13回

酒田市教育委員会会議録

第 13 回 酒田市教育委員会 会議録

1 日 時 平成 28 年 10 月 28 日 (金) 午後 1 時 30 分 開会
午後 2 時 40 分 閉会

2 場 所 酒田市役所中町庁舎 6 階 61 号会議室

3 出 席 者

出席	欠席	教 育 長	村 上 幸 太 郎
出席	欠席	委 員	浅 井 良
出席	欠席	委 員	齋 藤 義 明
出席	欠席	委 員	國 眼 眞 理 子
出席	欠席	委 員	岩 間 奏 子

4 説 明 者

出席	欠席	教 育 部 長	大 石 薫
出席	欠席	企 画 管 理 課 長	桐 澤 聡
出席	欠席	学 区 改 編 推 進 主 幹	長 村 正 弘
出席	欠席	学 校 教 育 課 長	今 野 誠
出席	欠席	指 導 主 幹	佐 藤 寿 尚
出席	欠席	社 会 教 育 文 化 課 長	日 下 部 雅 樹
出席	欠席	文 化 主 幹	阿 部 武 志
出席	欠席	社 会 教 育 文 化 付 主 幹	熱 海 熱
出席	欠席	ス ポ ー ツ 振 興 課 長	小 野 芳 春
出席	欠席	図 書 館 長	阿 部 博
出席	欠席	図 書 主 幹	阿 部 武

5 議 事 日 程

- 日程第 1 会期決定
- 日程第 2 会議録署名委員の指名
- 日程第 3 会議録の承認
- 日程第 4 議事
- 日程第 5 教育長の報告
- 日程第 6 その他

◎ 開議

(村上教育長) ただいまより平成28年第13回教育委員会を開会いたします。本日は國眼委員が欠席ですが、定足数に達しておりますので直ちに会議を開きます。

◎ 会期決定

日程1 会期の決定 を議題といたします。会期は本日1日限りとしたいと思いますがご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」)

(村上教育長) ご異議なしと認めます。よって会期は本日1日限りと決定いたしました。

◎ 会議録署名委員の指名

(村上教育長) 次に日程第2 会議録署名委員の指名を議題といたします。本日の署名委員に浅井委員と齋藤委員を指名したいと思いますがご異議ございませんか。

(各委員「異議なし」)

(村上教育長) ご異議なしと認めます。よって会議録署名委員は浅井委員と齋藤委員に決定いたしました。

◎ 会議録の報告

(村上教育長) 次に日程第3 会議録の報告を議題といたします。第11回及び第12回の会議録はお手元の会議録の写しでご了承くださいますようお願いいたします。

◎ 議事

◎ 教育長報告

日程第4 議事及び 日程第5 教育長の報告 につきましては、本日ともに案件がございません。

◎ その他

日程第6 その他に入ります。各課より報告事項がありますので報告いたします。それでは企画管理課よりお願いいたします。

(企画管理課長) 平成28年度10月までとなりますが、教育委員会に提出されました主要望事項についてご報告いたします。教育委員会への主要望としましては、3件ございました。1件が平成28年度酒田市教育条件整備に関するお願いということで酒田市小学校長会長、酒田市中学校長会長からの要望事項、2つ目といたしまして、体操競技試合用器具の整備・更新に関する要望、これにつきましては、山形県体操協会長、酒田地区体操協会長より提出されております。3件目といたしまして、酒田市光ヶ丘50mプールの観客席等の整備に係る要望につきましては、酒田市水泳連盟会長から要望書が提出されております。いずれも次のページに写しを付けていますので、かいつまんでご説明させていただきます。報告事項の資料をめくっていただきますと、小学校長会、中学校長会からの酒田市教育条件整備に関するお願いの資料を付けています。他項目にわたっての要望になりますので、優先的に整備をお願いしたい事項を中心にご説明させていただきます。特に昨年度と比較しまして、変更になったところ、追加になったところを中心にご説明させていただきます。最初に(1)の①教育支援員の配置継続と研修の充実についてです。昨年度まで配置についても拡充してほしいというご要望でございましたけれども、28年度に教育支援員が大幅に増加したことを踏まえまして、現在の配置を継続してほしいということで変更がされております。②特別支援教育巡回相談員の人員・派遣回数維持につきましても、これも従来につきましては拡充というご要望でしたが、教育支援員が大幅に配置されたことを踏まえまして、同様に維持ということで変更されています。③小学校外国語活動の拡充に対応したALTの増員、これにつきましては今までは派遣回数を増やしてほしいというご要望でしたが、今年度は増員という要望に変わっております。(2)学力向上対策事業の推進につきましては①のA N R T、知能検査に加えて、今回からQ-Uテストの実施も継続してほしいということで追加されています。続きまして、(7)施設設備の計画的な改修や修繕の③照明のLED化ということで、これは新規に挙がってきています。学校施設の照明のLED化につきましては省エネの観点で各学校に配置してほしい、整備してほしいという内容でございます。(8)形式の統一など教育委員会主導による、ホームページの作成・更新システムの構築、これは昨年度も要望があったわけですが、優先的に整備をお願いしたい事項ということで、従来よりも優先度を上げた形で要望が出されてきています。この背景といたしまして、個人情報保護法の関係もあり、保護者の連絡網が作れないなかで連絡をするツールとしてホームページが必要ではないかという考えがあります。各学校のホームページにつきましては、開設している学校としていない学校、または開設していても人事異動によりまして担当の先生がいなくなると使いこなせないということもありまして、様式などを統一した形で各学校のホームページを立ち上げられるようにしてほしいという要望でございます。また(9)危機管理体制の整備の①のイ災害対応に関する研修の継続につきましては、平成27年度から子どもの命を守る安全教育推進会議を教育委員会で立ち上げております。その中で山

形大の先生、鶴岡高専の先生からアドバイザーで入っていただいておりますが、その先生方からは各学校も回ってもらって、防災の教育であるとか、避難訓練の方法であるとかを指導していただいております。これまで津波浸水エリアの学校を中心に訪問しておりますので、今後は他の所も回っていただくよう研修を継続してほしいという要望が出されています。(10)文化・スポーツ関係でございます。⑤教育的配慮のあるスポーツ振興がなされるための教育委員会と体育団体との密接な連携の強化、⑥吹奏楽コンクールや地区の大会等、教育課程に大きく影響する学校行事に対する、希望ホール等の文化施設の優先的予約・使用への配慮の2点につきましてですが、これまではもう少し優先度が低い形で要望が出されていましたが、平成28年度から文化・スポーツに関する事項が教育委員会の方に機構改革で再移管されたということを踏まえまして、教育委員会としてぜひお願いしたいということで、優先的に整備をお願いしたい事項という位置づけで要望が出されたということでございます。次の3、4については時間の都合上省略させていただきます。

続きまして体操競技試合用器具の整備・更新に関する要望についてです。これにつきましては現在、国体記念体育館にある体操競技用の器具類につきましては、国体記念体育館ができました平成5年以降、更新せずそのまま使っている状況にあります。そのため、かなり老朽化してきていることや、今の大会運営の規格に合わない状況になってきているところでございます。そういう状況で、来年度インターハイが山形県であるわけですが、その中で体操競技が酒田市で開催されることも含めまして、体操用器具の整備・更新といった要望が出されたということでございます。

次に光ヶ丘プールの観客席等の整備に関する要望でございます。光ヶ丘プールにつきましては、屋外の50mプールが平成18年に整備されております。また屋内の25mプールにつきましては平成16年に整備して以来、利用しているわけなのですが、特に屋外50mプールの観客席につきましては、芝生部分に雑草が生えてきたり、雨の日は土砂がプールに流れるというような支障が生じているということでもあります。平成30年度に東北中学校水泳競技大会が酒田でできないか打診を受けている状況を踏まえまして、観客席等の整備の依頼が出されたということでございます。以上3点の要望についてご報告申し上げます。

(村上教育長) ただいまの報告にご質問・ご意見ございましたらお願いいたします。

(齋藤委員) 今ご説明あった中で、危機管理体制の整備の中で、前年度、衛星の携帯電話と、また津波対策でのフェンスの設置、緊急連絡用の受信システム等の要望あったわけですが、今回それらの要望がないということは、ある程度各学校ではそのようなものが配置・整備されてきていると考えでよろしいのでしょうか。

(企画管理課長) 昨年度ご要望いただいております、屋上フェンスの設置につきましては、昨年度宮野浦小学校と第四中学校に屋上フェンスを設置しております。引き続き屋上フェンスの設置が必要な箇所というのはあったわけなのですが、今年の3月に改めて県で津波浸水想定のお考え方を示したなかでは、沿岸部では津波は高くなりますが、市内の方に入ってくると浸水エリアが縮小されてきているというような状況も踏まえまして、今回は屋上フェンスの設置が今後必要なところは今のところないということで、要望としては出されていないのではないかと、という状況であります。通信体制の整備については、危機管理部門に対しての要望ということで出されていますが、予算化は難しい、コミ振等には衛星電話を配備していますので、それらをまず活用してほしいということが昨年度に回答されたものですから、今年度の要望として出されなかったと思われまます。

(齋藤委員) フェンスに関しては喫緊の課題がある学校には整備がされているとして、情報の受信システムはコミ振にはある程度整備されているということでしたが、例えば学校とコミ振が離れている地域もあるので、これから災害というものを真剣に考えていかななくてはならないと思いますので、全体のバランスの中では厳しいというのは十分わかるのですけれども、今後の検討課題ということでもよろしく願いできればと思います。

(村上教育長) 他にございませんでしょうか。

(浅井委員) 1点目ですけども、教育条件整備に関するものです。2の(2)学力向上対策推進事業の推進の中で、①のア、イ、ウとありますけれども、昨年度は要請訪問の回数増というのがお願いされていましたが、今回は割愛されていて、学校で十分だという要望があったのかという確認です。それから2点目として、(9)危機管理体制の整備の中の①のア 活断層上の学校施設の安全性についての検討というところでしたけれども、昨年度と同じように書いてありまして、5月の勉強会の際に企画管理課作成の資料として示された資料があり、松山小学校については耐震化等進めていって今後も利用すると市では考えているわけです。そのことが学校に伝わっても、もう1回検討してくださいということなのか、それとも市の対応について学校で分かっていないのかをお聞きしたいと思います。それから3点目でしたけれども、(10)文化スポーツ活動振興のための施策の充実の⑤について、スポ少等に関する件が書いてあり、昨年度より優先して整備をお願いしたいということで挙げられてきているのですけれども、これも市全体で考えないといけない問題と捉えているところです。8月22日の山形新聞の囲み欄に、佐賀市教育委員会がスポ少の活動に問題があるので抑制しようという案を出したところ、賛否両論があったという記事がありました。50年前の東京オリンピックのときに、スポ少や部活が過熱になったという経緯があったことが書いてありました。同じようにして東京オリンピックを目前としてそういった風な動きが出てこないか、テレビを見てると「僕も東京

オリンピックに出て金メダルを取りたい」という場面がすごく出てくるのです。これからますますスポ少や部活の練習や試合が過熱化することが十分考えられるので、学校だけでは手を打てない部分があるものですから、市全体として関係団体とも協議を重ねながら検討して歯止めをかけなければならないと感ずるものですから、一歩進めてほしいという意見でございます。それから次に（５）文化スポーツ振興についてですけれども、狂言体験ワークショップ参加体制における各学校の主体性の確保ということが書いてあるのですけれども、どのような課題が学校から指摘されているのか教えていただければと思います。最後にもう一つ（８）その他 ロサンゼルス４世交流事業の見直しということですが、去年はなかったもので、どのようなことが課題として指摘されているのか教えていただきたいです。

（村上教育長）まず初めに要請訪問についてお願いします。

（学校教育課長）学校の立場としてはより多く要請訪問で指導助言を実施したいという思いはあります。今年度は小学校の委嘱研究をスタートさせて、そちらには要請訪問を基本的な回数よりも多く派遣している状況もあり、指導主事も対応している状況を鑑みて構内で研修会をする際に、教育委員会からの要請を受けつつ、各学校でいろいろ連絡をとりながらお越しいただくような状況になっていることから、要望から外しているのはいかとは推測されます。

（浅井委員）基本的には委嘱研究をしていない学校は１回ですか。

（学校教育課長）最低１回は伺っています。昨年度は希望によって２回行っているんですけども、実態として２回行った学校はそれほど多くなかったです。

（浅井委員）自前で講師の派遣が可能になったということが理由ですか。

（学校教育課長）前からそういう形をとっていたと思うのですけれども、今年度の学校の状況を聞いたときに、連絡を取り合いながらそのように行っている、また、中学校はホームアンドアウェイということで２校間でお互いに行っているとか、そういう状況に変わってきていると思います。

（浅井委員）ホームアンドアウェイというのは指導主事は基本的に入らないということですか。

（学校教育課長）日程等が合えば指導主事も行っております。

(村上教育長) では次に活断層上の学校施設の安全性についての検討が出てきているという
ことについての説明ですけれども、企画管理課長お願いします。

(企画管理課長) まずこの件についての要望ですが、松山小学校に関することではありませ
ん。活断層の線がはっきりしていないところを調べてほしいという要望でございますの
で、要望の内容としては困難なものでないかと考えているところです。

(浅井委員) 松山小の件だと思ったものですから、そうでなかったら、質問を取り下げます。

(村上教育長) それでは続いてスポ少の活動の調整につきまして、スポーツ振興課長お願
いします。

(スポーツ振興課長) スポーツ少年団については、1964年の東京オリンピックを前にし
て設立され、今年が酒田市のスポーツ少年団50周年になります。やはりオリンピックと
いうものを目指し、競技スポーツの強化と、青少年の健全育成と併せて設立されたもの
ですから、50年の歴史の中で、ここ2、3年前から過熱気味になっており、子どもたちは
学業を中心としてさらにスポーツも行うというのが本来でないかということで、私たち
も事あるごとにスポーツ少年団本部指導者の皆さんにはお話をしております。また来月
50周年記念事業もありますので、過熱気味にならないやり方というのが、スポーツ少
年団の大きな課題となっていますので、そういうお話をしていきたいと考えております。
これから東京オリンピックがありますので、よりよい形でのスポーツ少年団活動を育て
ていきたいと考えております。

(浅井委員) 1つの検討委員会を設ける方向でもっていかないと同じようにして、学校も子
どもたちも親も苦しむような状態が続くのではないかということで、切実な問題になっ
ているようですので、一步踏み出していただけるとありがたいと思います。

(村上教育長) スポーツが教育委員会の所管となったこともあり、そういった意味でスポー
ツの振興の在り方についてはより主体的に教育委員会で検討していく必要があるという
ところです。具体的にどのような動きをしたらよいのか、教育委員会としての対応の在り
方についてさらに検討を進めていく方向でできればと考えているところでした。
続いて狂言の体験ワークショップにおける各学校の主体性の確保はどのような要望なの
かということについて、説明と現状につきまして、社会教育文化主幹をお願いします。

(社会教育文化主幹) 要望の中身につきましては、今回の狂言ワークショップにつきまして

は全学校の5年生を対象としましたけれども、各学校のある地区には様々な民俗芸能があるということで、その辺を加味していただいて考えられないかということでした。しかしながら、現在酒田地区で使用しております教科書の方にも狂言の「附子」が載っておりますので、こちらとしてはぜひ来年度も全学校を対象とした事業として考えて参りたいと思っております。

(村上教育長) ちょっと補足させていただきますけれども、全部の学校が参加するのか希望した学校であれば参加できるという仕組みなのか、一部誤解があったみたいで、事業がスタートして呼びかけた途端にそういったことの質問が出たりしたものですから、私としてはこの事業を進める段階から校長会長とは話をしていたのですけれども、各学校の校長先生方と同じ考え方であったのかは一部ずれがあったのだらうと思っております、プロセス上の課題を再認識しているところで、何か新しい事業を組む時、教育課程に影響を及ぼすような事業については事前に校長先生から他の意見を聞きますのでその際はぜひよろしくお願ひしたいと考えております。今回の要望事項を受け取った時にこれについてひとしきり話題になったものですからまずその誤解を解こうとしたところで、方向性として、基本的に教育課程については学校長に裁量権ありますので、まずは学校の意向を十分尊重して参りたいと考えているところです。事業の公演料など、学校が参加できないとなったとしても基本的に予算上はそれほど大きな変更はないのかと思ったのですが、まずこの度は全部の学校から参加していただき、その結果、子どもたち、担任の先生学校としてどうだったのか、よくご意見を聞いたうえでこの事業を進めたいと考えています。

(浅井委員) 学校の様々な立場や考えがありますので、意見を聞くことも大事なかなと思いました。市内の学校ですと3時間の授業がカットになるので影響も大きい事業になってくるといふ話も聞いておりますので、よろしくお願ひします。内容はすばらしいと認めつつも、授業時間数が不足しているという学校の状況も考えないといけないと思ったところでした。

(村上教育長) それでは次にロサンゼルス4世交流事業の見直しという要望が出た背景について、企画管理課長お願ひします。

(企画管理課長) ロサンゼルス4世交流事業の見直しにつきましては、様々な国際交流事業を進めているわけなのですけれども、そういった中で中学校の先生方の負担感を減らしたいという考え方から、こういった事業で学校の先生たちを派遣することについては抑えていただきたいという要請でございます。特にロス4世の事業につきましては、初回に受けたのが平成22年、23年、今回は2回目です。27年度受け入れをして、28年度訪問

という2回行っているわけですが、1回目の時にはこちらもどう進めていけばよいか分からないなかで、かなり学校のご協力いただきながら実施してきたということがありました。今回2回目の交流の中ではできるだけ先生方の負担を減らしながら教育委員会の方で主体的に事業を取り扱ってきておまして、先生方ご本人にお伺いすると、それほど負担感はなかったと伺っております。ただ全般的に労務管理されてる校長先生方にとってはこういった事業に先生が時間を取られてしまうということについての不安感をお持ちなのではないかと考えているところであります。

(浅井委員) 事業そのものの良し悪しでなく引率の方の負担が大きいのが問題になっているわけですね。

(企画管理課長) 校長会からの要望としましては、事業そのものという捉え方ではなく、あくまでも先生方の負担感の部分でこのようなご要望をいただいたということでございます。

(村上教育長) 他にご質問ご意見ございませんでしょうか。

(岩間委員) ロサンゼルス4世事業と併せて4の(1)はばたき、少年の翼で、より広く児童生徒に市費を還元する事業のあり方とありましたけれども、具体的な案が進んでいるのかどうかが見えての提言なのかと、派遣人数削減の検討とは、今行っている人数を減らしてもっと他に事業をしたいというものがあつてのことなのか教えていただきたいです。次に(4)の学校給食について、市の小中学校の学校給食での安全な食材の確保と地産地消の推進のところで、小学校はその時期の旬のものであるとかを細かく丁寧にお便りですけれども、中学校の給食となるとメニューが書いてて終わりということで私もあまり見てなくて大変申し訳ないのですけれども、同じ給食を食べているものとして、小学校と中学校で温度差がある感じで、授業の中でも、中学生には地元の良い物、酒田市の良いところを学べるところがあるといいと思いました。その他の学校集金のところで、お金の集め方とか処理の仕方というところの問題で、学校でもともとシステム化していなかったのかお聞きしたいと思います。

(村上教育長) 最初に海外交流事業のあり方の要望について、学校教育課長お願いします。

(学校教育課長) 市町村合併以前からの旧3町の事業があり、小学校であれば旧酒田市のころから少年の翼が継続している。旧八幡町であれば沖縄に行く交流事業を継続している状況です。中学校も旧松山町でアメリカへの派遣、旧酒田市でもはばたきが継続して行われています。学校の合併に伴い一本化できないかということもあり、調整がありまだ途中

段階ですけれども、そこに学校の統合が入って、飛鳥中学校が東部中学校となったときに、それまでは飛鳥中学校ははばたきで行っていたんですけども、東部中になったときに松山の事業になった経緯があります。そうしたときに統合前に来年は自分もはばたきに行きたいと言っていた子が行けないという事もあり、はばたきは市全体で募集する、そうなった時に東部中学校は松山の事業があるものですから、そこで重なりがあると、そこで公平感に課題があり、今年度は松山で手をあげた場合はばたきに手を上げないということで2回応募できる体制はないような形で公平性を大事にしてきたのですけれども、市民の立場からすると1つの学校でチャンスが2回あるのに他にはないという不公平感がないかどうかや、小学校もある程度旧町と別なものですから、そこを統一することができないとか、そういった問題を含めたところで一元化、児童生徒に市費を還元する事業のあり方の検討が出されていると受け取っております。それから2つ目の派遣人数削減につきましては、昨年度まではばたきには団長と引率教諭2人ということで学校教諭3名お願いしてまして、事務局から1名の4人体制だったわけですけども、約10日間学校から離れるということで、そこでの授業時間数の確保とか課題があり、そういったことで人数を減らすことで対応できないかということもあります。今年度は3名体制で行っているのですけれども、危機管理上それでは課題があるという意見も多く、調整が必要です。

(村上教育長) 次の安全な食材の確保と地産池消、給食について企画管理課長お願いします。

(企画管理課長) 学校給食につきましては、小学校も中学校も基本的には同じ献立で実施しております。従って地元のものを使うという意味では、例えば米粉パンを使用したり、つや姫給食を実施したり、あるいは地元のヨーグルトを使うというような献立は小学校も中学校も同じように実施をしているところであります。ただもし保護者の立場で、中学校の方がうまく伝わっていないというようなご指摘であれば、内容について検討していきたいと思えます。

(村上教育長) 続いて学校給食に伴う事務の関係について、企画管理課長お願いします。

(企画管理課長) この要望につきましては、給食費だけでなくPTA会費や学級集金も含めての集金となりますが、現状各学校が金融機関を指定して口座引き去りをするようなシステムを入れているところです。ただ学校の地域性等を踏まえて、地域によっては口座引き去りを1つの金融機関を指定しているところもあれば、他の学校では〇〇銀行とか●●銀行を複数指定する学校もございます。学校の事務の先生方が人事異動で動かされた際そのシステムは金融機関ごとに異なるものですから、できるだけ混乱しないように酒田市として1本化できないのかというご要望でございます。学校単位で言えばシステム化はなっているわけですが、酒田市全体で見たときに統一化がなっていないということ

になります。ただこれにつきましては、酒田市というより学校と金融機関の問題であるので、果たして統一化ができるのかと考えたとき難しいのではないかと考えております。もう少し調べながら考えていきたいと思っております。

(学区改変推進主幹) 学校統合の事務について、私からご説明させていただきます。こちらにつきましては、年度末に事務が集中するというのもございまして、学校には新年度に事務が回ってしまった場合どのように対応したらよいのかという心配からの要望と承っております。4月1日から新しい学校としてスタートするわけですので基本的には年度内で事務処理を終えていただいて、学校からは新しい事務をしていただくと考えておりますのでそのような形で今までも前の学校の事務処理については年度内で処理していただいたという経過がございます。

(村上教育長) 他にご質問ご意見はありますか。

(村上教育長) それでは次に参りたいと思います。報告事項2と3をお願いします。

(スポーツ振興課長) 第5回酒田シティハーフマラソン大会の結果についてご報告いたします。酒田市色をPRしようということで、「酒田つや姫マラソン」が10月16日開催されました。記載のとおり、エントリー数1931名に応募いただきまして、かなり参加が多くなっております。特に県外からのエントリーが479名で、これまでに最多でございます。北は北海道、南は熊本の方が参加しております。また地元も含めてですけれども、小学生、中学生につきましては360名の皆さんが3kmと1kmで頑張ったということでございます。表彰につきましては、より多くの方から入賞の喜びを味わっていただきたいということで、10歳刻みの44クラスで表彰しております。特色としましては、アーリーエントリーされた方につきましては、つや姫2合をプレゼントする企画を実施し、468名の申し込みをいただいております。また警備・ボランティアスタッフは約700名の方から大会を支えていただき、各地区の体育振興会スポーツ推進員、市職員につきましても131名ほどの皆さんからご協力をいただいております。特記事項にありますとおり、東京マラソンとの提携ということで2017年の東京マラソンに参加する枠を25名分確保していただいております。ただ基準タイムがございまして、10kmでは35分40分でクリアし、山形県等陸上競技連盟に登録している方が該当になります。当日の状況につきましては、晴天に恵まれ、つや姫大使となられた弘道お兄さんから大会を盛り上げていただいて、参加された方に喜んでいただきました。ただ、来年に向けては警察からかなり強い指摘事項もございましたので今後検討改善していきたいと考えております。

次にスポーツイベントのこれから秋冬にかけての予定でございます。1つはスワンスケートリンクのオープンで、酒田ならではのウィンタースポーツということでアイスス

ケートリンクが来週土曜日、11月5日からオープンしまして来年3月26日まで開設をいたします。オープン記念としまして11月5日と6日、また3月の25日と26日に感謝デーとして、入場料につきましては無料、ただし靴代は有料となっております。また一般使用については記載のとおりとなっております、各学校の課外授業などでも広く利用していただいております。2つ目としまして、第11回酒田市巡回駅伝競走大会について、八幡地区、平田地区、松山地区も巡るコースに変えまして、今回11月6日午前と午後に分けて開催されます。全12区間、42.1kmのコースで、現在申し込みが39チームいただいております。市内のコミュニティ・小学校地区対抗と愛好会・クラブ対抗でチームが分かれておりますので、朝9時からスタートしますので、各地区を通過しましたら、応援をお願いいたします。

3番目としましてはヤマザワカップ第33回山形県女子駅伝競走大会です。酒田・飽海チームは昨年優勝しており、2年連続8回目の優勝を目指し、声援をお願いいたします。11月20日の11時5分スタートとし、上山市から山形メディアタワー前までの区間で開催されますけれども、テレビ放映もありますので、テレビでも声援をいただければと思います。壮行会が11月18日に5時から陸上競技場で開催されます。

2面をご覧ください。地元酒田の実業団チームでプレステージ・インターナショナル女子バレーボールチーム「アランマーレ」が出場するV・チャレンジリーグII女子酒田大会が開催されます。11月5日に開幕いたしますが、公式戦が酒田ホーム戦で11月19日、20日開催されます。1日2試合ずつありますけれども、2試合目にアランマーレとGSSサンビームス戦があります。20日も2試合目、14時からとなりますけれども、トヨタ自動車との試合がございますので、ぜひ応援をいただければと思います。両日とも大アリーナで開催されます。前売り券につきましては酒田市体育協会にて取り扱っております。また今年度のホームゲームですが、1月14日、15日も国体記念体育館で予定しております。以上よろしくをお願いいたします。

(村上教育長) 2つ報告ありましたけれども、ご質問ご意見ありますでしょうか。

(齋藤委員) ハーフマラソンの中で今ご説明ありましたけれども、警察から指摘を受けたという説明ですけれども、どのような内容だったのでしょうか。

(スポーツ振興課長) 警察からは交通安全と救急の連絡体制が、無線のやり取りの問題がありまして、本部にいち早く入ってこないという指摘でした。当日は救急車を2回、コース上と、会場のゴールに、お医者さんの判断で呼んだのですが、救急隊には連絡が入っていたのですが、本部への連絡が遅かったとのことでした。大会運営上の交通安全について、警察官が全部ついているわけではないので、委託した警備の方等が規制をかけていまして、そういった際に誰が言ったかは定かではありませんが、侵入した方につきまして「違反

切符を切るぞ」という発言をしたという話が警察に入ってきました。そのような形で警察がいきなり話をするわけがないので、警備上で一般の方に丁寧にお話をしてご協力いただくように市役所の説明会でもお話していましたが、それが細部にわたってスタッフに届かなかったということで警備会社のほうでも調整をお願いしております。警察には問題点を整理したうえで伺う手立てをしております。

(齋藤委員) 私もスタッフである場所で立っていたのですけれども、今言われたような内容なのですが、本部への連絡体制について、コース上で信号など規制かけているわけであって、最終的に警察で確認して規制を解除しなければコースに近い警備スタッフの方は本当は帰れない部分あると思ったのですけれども、いろいろな情報が入ってきて、これで撤収だといわれながらもまだ信号が解除されていない中で、本部からの連絡体制が今回薄かったかなという印象を受けたのです。その辺は反省点としてどのような手立てがあるのか今後考えていただければ、交通規制かけているといってもほとんどの方は事前の告知なんか見ていないので、その辺ぜひいろんな対応等あると思いますけれども、よろしくお願ひします。

(村上教育長) 他にございますか。

(村上教育長) それでは次に進みます。報告事項4について図書館長お願いします。

(図書館長) 報告事項4酒田市雑誌スポンサーの応募についてご報告いたします。9月中旬に4件応募があり、10月3日に4社承認されております。株式会社新和設備、株式会社上州屋、パイプ・ラインエンジニアリング株式会社、北星印刷株式会社、この4社から申し込みがございまして、結果として平成28年度中の雑誌スポンサーに応募された会社数は計6社、雑誌数は9誌となっております。以上です。

(村上教育長) ただいまの報告にご質問ご意見ありますか。

(岩間委員) 教育委員になるまで雑誌のスポンサーがあることも知りませんでした。酒田の企業にも発信し、新しく駅前にも図書館できますので、一つの企業の発信媒体としてどんどん発信していった方がいいと思いますので、よろしくお願ひします。

(村上教育長) その他ございますでしょうか。

(村上教育長) それでは次に進みます。報告事項5について、学校教育課長。

(学校教育課長) 過ぎし日の自然 臨海学校という冊子をこの度600冊寄贈いただいたことについて報告いたします。後藤正明様は現在岐阜県に在住しております。高校まで旧八幡町にお住まいで、中学校の出来事として先生から飛島に行こうという提案があって山菜をとってリアカーで引いて売りに行ったり薪拾いをしたりと自分たちで工面しながら飛島に行っているいろんなことを見聞きして感動したことがつづられたエッセイでございます。寄贈者の小野寺良信様ですが、作者の後藤正明様の甥です。6月にこの原稿を見せていただいて、ぜひ酒田の中学生に見ていただきたいという思いがあって冊子が作成されました。10月25日には作者の後藤正明様と寄贈者の小野寺良信様のご両名が教育長室の方でお話されたんですが、小野寺様からはぜひ飛島に一度は足を運んでもらいたい、後藤様からは便利な時代だけでも、困難を越える力を感じ取ってほしい、子どもたちと授業を進めるにあたって先生の情熱を感じ取ってもらえると嬉しい、島のある市というのはそれほど多くないと思うけれどもその中で島を大事にしてもらいたいという願いで書かれたということです。なお今後学校の方に中学校に10冊、小学校に10冊、市立図書館にも置き、子どもたちに手にとってもらえるようにする予定です。以上です。

(村上教育長) ただいまの報告にご質問ご意見ありますか。

(村上教育長) 続いて報告事項6についてお願いしたいと思います。

(社会教育文化主幹) 第47回酒田民俗芸能公演会 民俗芸能フェスタについて報告させていただきます。教育委員の皆様には本日パンフレットを配らせていただきましたけども、11月13日12時半から希望ホールで第47回酒田民俗芸能公演会 民俗芸能フェスタを開催させていただきます。酒田市では、北前船の寄港地として、日本遺産の登録を目指していることもあり、今年は上越市大潟区から米大舟を招聘し、酒田では既に途絶えてしまった酒田節を披露していただきます。市民の皆さんが既に歴史の途絶えた文化に触れる機会になればと思っております。入場料も無料ですのでぜひ多くの市民の皆さんから足を運んでいただきたいと考えております。以上です。

(村上教育長) ただいまの報告にご質問ご意見ありますか。

(村上教育長) 用意された報告は以上でございます。委員の皆様から何かございますでしょうか。

(村上教育長) ないようですので、以上を持ちまして本日の日程はすべて終了しましたので閉会いたします。